



第⁹⁰号

2011 / 8

クリーンモバイル都市圏構想

交通基本法から
「クリーンモバイル都市圏構想」へ

人と環境にやさしいグリーンモ
バイル都市圏では、高度にス
マート化された自然エネルギー
発電を最大限利用し、電車、バ
ス、自動車は廃棄ガスを出さな
い、「クリーンモバイル」だけが
走っています。自転車道が徹底
的に整備され、車いすだけでな
く様々な電動のパーソルモバイルの走行空間も確保されています。



すべての住宅の屋根には、太陽光発電パネルが設置され、駐車中のプラグインの
自家用電気自動車に余剰電力は充電されます。都市交通の基幹となるLRTはすべ
てのJRに乗り入れ、架線の無い路線ではバッテリートラムとなって走ります。

- 2050年までにCO2の80%削減を目指して、グリーンモバイル都市圏では
1. パーソントリップの自動車分担率を70%→50%とします。
 2. すべての自家用車、バスは電気自動車化し、エネルギー効率を2倍以上にします。
 3. 自転車道の整備で、歩行者2輪車の分担率を25%→35%にします。
 4. 公共交通を一体化して交通連合を作り、分担率を5%→15%にします。
 5. すべての人が安心安全のもと、自由にいつでも移動できる環境を整備します。

NPO法人・公共の交通ラクダ(グリーンモバイル研究所)

事務局 〒700-0823 岡山市北区丸の内1-1-15(禁酒会館3F) TEL&FAX 086-232-5502
E-mail racda_okayama@ybb.ne.jp RACDA 検索

詳しくは http://wiki.livedoor.jp/racda_okayama/ まで

